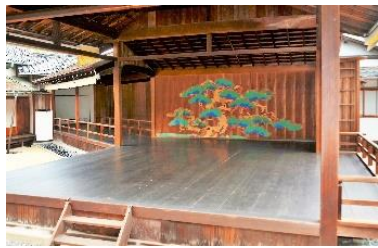


# 後楽園 能舞台と能・狂言の魅力を再発見！

## 岡山後楽園能舞台復元60周年記念事業一覧表

※9月11日以降のものを掲載



岡山後楽園の能舞台は、後楽園が一応の完成をみた後の宝永4（1707）年に完成し、享保19（1734）年の改築を経て、明治維新後、昭和に至るまで岡山の文化の中心として、200年以上にわたって能や狂言の上演に用いられてきました。

昭和20（1945）年、戦災で焼失しましたが、昭和32（1957）年5月に復元工事が始まり、翌、昭和33（1958）年5月に竣工、6月8日にこけら落としの祝賀能が行われました。

復元された能舞台は、現在も能や狂言を中心とした芸術公演に活用されています。

今年は、この復元から60周年の還暦の年に当たることから、このタイミングをとらえ、能舞台で演じられる能・狂言への関心を高めるとともに、舞台の沿革や特殊性・希少性をアピールする事業を実施し、300年の歴史を誇る大名庭園としての後楽園の魅力を発信していきます。

### ○能舞台一般公開（主催事業等） 場所：後楽園能舞台ほか

通常は公開していない能舞台を、観客席となる「栄唱の間」などからご覧いただけます。

事業名	日程	主催
和 문화体験 座敷で楽しむ	9月21日(金)、10月26日(金)、12月21日(金)	岡山県、 (公財)岡山県郷土文化財団
亭舎公開	10月22日(月)・23日(火)・25日(木)	

※上記のほか、秋の幻想庭園期間中にも公開予定です。詳細が決定次第、ホームページ等でお知らせします。

### ○能・狂言公演（関連事業） 場所：後楽園能舞台

公演名	日程	主な内容（出演者等敬称略）	主催
岡山後楽園で能を楽しむ会	10月6日(土)	【能】「東北」 山崎英紗子 ほか 【能】「野守」 山崎浩之 ほか 【狂言】「鬼瓦」 茂山あきら ほか 【独吟】「隅田川」 藤井千鶴子	(公財)岡山県郷土文化財団
後楽能	11月3日 (土・祝)	《対談》「岡山の能と鶴」 金関猛 ほか 【舞囃子】「高砂」 大島輝久 ほか 【狂言】「末広かり」 田賀屋夙生 ほか 【能】「鶴」 大島衣恵 ほか	岡山能楽会 (共催:岡山県)
狂言 田賀屋狂言会	11月23日 (金・祝)	【狂言】「三番三」、「蝸牛」、「三本の柱」 茂山千五郎、田賀屋夙生 ほか	田賀屋狂言会

### ○能と狂言のワークショップ（体験会）（主催事業） 場所：後楽園能舞台ほか

事業名（仮称）	日程	内容
狂言のワークショップ	11月17日(土)	【講師】田賀屋夙生 氏 ※詳細は9月下旬に発表予定です。
能のワークショップ	11月24日(土)	【講師】大島衣恵 氏 ※詳細は9月下旬に発表予定です。

### ○他施設との連携事業

岡山後楽園能舞台60周年記念事業と連携し、以下の展覧会において、旧岡山藩主池田家に伝来した能面や能装束等が展示されます。

#### 【林原美術館】

展覧会名	日程
王朝文学への憧れ—歌・物語に染まる、もののあわれ—	9月15日(土)～11月4日(日)

#### 【野崎家塩業歴史館】

野崎家塩業歴史館における関連展示会は、9月6日で終了しました

※上記各事業の内容は、変更になる場合があります。追加・変更情報等は、随時、岡山後楽園の公式ホームページ(右側のQRコード、<http://okayama-korakuen.jp/>)で公開しますので、最新の情報をご確認ください。

